



2024年11月19日
住友生命保険相互会社

～プレコンセプションケア領域での企業向けサービス～
**不妊治療と仕事の両立を支援するWhodo 整場（フウドセイバー）の
オンラインセミナーを一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）へ
提供開始**

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、プレコンセプションケア※1領域における企業向けサービス「不妊治療と仕事の両立支援」ソリューション（サービス名称：Whodo 整場（フウドセイバー）※2）のコンテンツの1つであるオンラインセミナーを一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）（理事長 伊澤 一雅、以下「JASRAC」）へ10月から提供開始しました。

住友生命は、今後もWhodo 整場（フウドセイバー）を通じて不妊治療と仕事の両立に向けた企業の風土づくりを支援していきます。

※1 プレコンセプションケア（Preconception Care）とは、女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと、そして、赤ちゃんを授かるチャンスを増やす、女性や将来の家族がより健康な生活を送れるようにする一連の取り組みのことです。

※2 詳細は右記 URL をご参照ください。<https://www.sumitomolife.co.jp/corporative/non-insurance/whodos/>

1. オンラインセミナーの提供について

今回、JASRACへは社内のダイバーシティ推進の一環として、多様な働き方を支援するために、管理職・全職員それぞれに対し以下のオンラインセミナーを10月から提供開始しました。

a. テーマ

- ①管理職向け「不妊治療と仕事の両立支援における管理職の心得」
- ②全職員向け「妊活を知る～他人ごとを自分ごと～」
- ③全職員向け「男女の更年期、基本のキ」

b. セミナー実施の背景・狙い

<JASRAC 人事部 課長 渡部様のコメント>

- ・当協会ではダイバーシティ推進の観点から、かねてより性別に関わらない活躍ができるよう、育児と仕事の両立支援に力を入れており、2023年度に初めて男性の育児休業取得率が100%になりました。
- ・不妊治療については、2022年度にアンケートを実施し、その結果をもとに、2023年度に不妊治療のための休暇取得や、休職ができるよう制度を整備しています。

- ・今回のオンラインセミナーは、当事者が安心して制度を利用できる環境構築を目的とし、実施したものです。併せて更年期についてのセミナーも実施し、職員が知識を深めるきっかけづくりをしました。
- ・サポートされる側、サポートする側が相互理解を深め、配慮し、感謝しあえることが、個人の働きやすさや、多様な人材が能力を最大限発揮できる組織に繋がると考えています。今後もこういった取り組みを継続的にすすめていきたいと思えます。

2. Who o 整場（フウドセイバー）の今後の展望について

住友生命は、お客さまの健康増進をサポートする Vitality 健康プログラムを中心とした WaaS (Well-being as a Service) ※3を通じてお客さまのウェルビーイングに資するサービスの提供を目指しています。

その1つであるWho o 整場（フウドセイバー）の提供を通じて、企業で働く従業員一人ひとりが望んだ「理想のライフプラン」を実現できるよう、「不妊治療と仕事の両立」という大きな社会課題の解決や、いつかは子を持ちたいと思う従業員への早い段階からのサポートによる、社会課題そのものの縮小を目指します。

また、若年層に向けたプレコンセプションケアや、男性育休・産後うつに関するコンテンツの拡充も行っており、今後も社会のトレンドや企業からのニーズを踏まえて、協業パートナーを増やししながらサービスを充実させていきます。

※3 Vitality 健康プログラムを中心とするウェルビーイングに資するサービスエコシステムのことです。

【WaaS の取組みイメージと本事業の位置づけ】

